

札幌市立北都小学校

全国学力・学習状況調査結果

4月に全国の6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の調査結果について、札幌市教育委員会より市全体の調査結果の概要が発表されました。これを受けて、本校における「全国学力・学習状況調査」の結果の概要についてお知らせします。

この調査が、本校児童の状況や実態のすべてを表しているわけではありません。しかしながら、調査結果は6年生の4月段階での学力の傾向を示すものであり、本校児童の傾向を推し量る上での重要な資料となるものです。

結果を公表することで、保護者・地域の皆様と本校児童の学力・学習状況を共有し、学力向上のための授業改善とともに、生活・学習習慣の改善を図っていきたいと考えております。引き続き、御理解と御協力をお願いします。

令和7年度 全国学力・学習状況調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

本校の概要

「上回っている」・・・全国の平均正答率より、3ポイント以上高い。
「ほぼ同程度」・・・全国の平均正答率と比べ、±3ポイントの範囲内。
「下回っている」・・・全国の平均正答率より、3ポイント以上低い。

観点	教科	国語科	算数科	理科
知識及び技能		下回っている	下回っている	下回っている
思考力・判断力・表現力等		下回っている	下回っている	下回っている

【国語科】

・知識及び技能の3つ内容「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」のうち、「情報の扱い方に関する事項」については、全国平均とほぼ同程度。

【算数科】

・「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の5領域のうち、「測定」については、全国平均とほぼ同程度。

【理科】

・A区分「エネルギー」「粒子」、B区分「生命」「地球」いずれの領域も全国平均を下回っている。

各教科の課題と改善の方向性

各教科において、特に全国平均との差が大きかったものを課題として挙げます。

【国語科】

課 題	改善の方向性
○「話すこと・聞くこと」において、話し手が、複数の質問を関連付けて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている、と捉えられていない。	○「なぜそのような発言をしているのか」といった、他者の発言の意図について考えることを繰り返し行う。
○「書くこと」において、読み手が具体的に内容を理解できるように、言葉と図を合わせて示していることを捉えられていない。	○自分の考えが伝わるように文章を書くためには図表を用いるとよいことが分かり、言葉と図を結び付けて書く学習を意識して行う。
○「書くこと」において、条件に沿って詳しく書き直すことができていない。 (無回答も多い)	○自分の考えを文章で書く経験を積み重ねるとともに、調べて分かったことと自分の考えを結び付けて書く学習を意識して行う。
○漢字を文の中で正しく使えていない。 (出題は「あつい」日)	○同音異義や同訓異字に注意しながら書くようにする。(例：熱い、暑い、厚い)
○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えられていない。	○「まず」「次に」などの順序性を表す言葉だけでなく、文章の中で、「何が」「どう」変わっているのか考えながら読むようにする。
○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付け、考えをまとめられていない。 (無回答も多い)	○自分の考えとその理由は書くことができているので、文章中の言葉を根拠にして書きまとめる学習を積み重ねる。

【算数科】

課 題	改善の方向性
《数と計算》 ○分数同士のたし算において、単位分数のいくつ分なのかを捉えられていない。	○分数の意味を、図と結びつけて考えていく経験を重ねる。
○数直線上に示されている数を分数で表せていない。	○「1を等分した数」という、分数の意味をもとに、数直線上で示したり、示されている分数を答えたりする学習を繰り返し行う。
○異分母同士の分数のたし算ができていない。(分母同士、分子同士をそのままたす間違いが2割)	○分数の意味を捉え、図や数直線で表すとともに、基本的な計算練習を行う。

<p>《図形》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンパスを用いた平行四辺形の作図ができていない。 ○台形がどのような形かは分かるが、見慣れている向きと異なると捉えられない。 ○面積の求め方について説明できない。 <p>《データの活用・変化と関係》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じて適切なグラフを選び、増減の判断をして、その理由を言葉や数を用いて記述することができていない。 ○問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述することができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図形の性質を確実に理解するとともに、どのような手順で作図すればよいのか見直しをもち、実際に作図する学習を重ねる。 ○図形の性質を確実に理解するとともに、様々な方向から図形を見るよう意識する。 ○どのように面積を求めるのか、ノートに書いたり人に伝えたりするなど、言葉で説明する学習を繰り返し行う。 ○割合で示されているグラフの読み方について理解するとともに、そのグラフのどこに着目し、どう考えたかを説明し合う学習を繰り返し行う。 ○問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量をどう求めたかを説明し合う学習を繰り返し行う。
--	---

【理科】

課 題	改善の方向性
<p>《地球》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○問題を解決するための実験方法を発想し、条件を正しく設定できていない。 ○実験結果を基に考察し、問題に対する結論の理由を表現できていない。 <p>《粒子》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水の温まり方について、観察・実験の方法が適切であったかを検討し、言葉で表現することができていない。 <p>《エネルギー》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電流がつくる磁力において、電磁石の強さは巻き数によって変わることを理解していない。 <p>《生命》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ヘチマの花のつくりや受粉について理解していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○変える条件・変えない条件を整理しながら実験の方法を考えることの重要性を意識して学習する。 ○結論とその理由を書きまとめる学習を積み重ねるとともに、その際結果を根拠として用いるよう意識する。 ○予想したことを確かめる方法になっているかを検討して改善し、発想した解決の方法がその通りできていたか考える機会を設ける。 ○基本的な知識が身に付くよう、ノートに書きかまとめるなど反復するとともに、知識を活用する場面を設けるようにする。 ○同上

児童質問紙調査の結果～学習・生活の状況 (pt はポイント)

全国と比較して肯定的な回答が多かった質問項目

- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。 +1.6 pt
 - 分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。 +1.9 pt
 - 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか +1.9 pt
 - 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。 +1.5 pt
 - 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。 +6.1 pt
 - 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。 +2.1 pt
 - 国語の勉強は好きですか。 +15.5 pt
- 子どもたちは人との関わりによって安心し、学びに向かえていることを表していると考えられる。

全国と比較して否定的な回答が多かった質問項目～校内

- あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか。 -12.9 pt
- あなたは自分がPC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか。 -18.5 pt
- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。
(5) 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。 -17.2 pt
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。 -12 pt
- 算数の勉強は好きですか -10.4 pt
- 理科の勉強は好きですか -13 pt

全国と比較して否定的な回答が多かった質問項目～家庭

- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。→30分より少ない・まったくしない -19.1 pt
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）
→30分より少ない・まったくしない -13.1 pt
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。
→30分より少ない・まったくしない -12.8 pt
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
→10分より少ない・全くしない -23.9 pt（実に7割の子が該当）

改善の方向性

学校として取り組むこと	家庭で取り組むこと
○Chromebook を活用した調べ方、まとめ方について総合的な学習の時間を中心に指導し、適切な使い方の定着を図る。	○家庭での学習習慣を形成する。学校から発行している「家庭学習のすすめ」を参考にしながら、子ども学習に寄り添い、励まし、学びに向かえるよう支える。
○総合的な学習の時間のカリキュラムについて充実を図り、子どもが課題を設定し、情報を収集し、整理し、まとめていく学習展開を自覚的に行うようにする。	○家庭での読書習慣を形成する。教科書本文の音読などからはじめ、保護者と子どもが共に本を読む時間を設ける。
○個に応じた指導をはじめ、分かるまで教えることに一層努める。	
○各教科の学習内容の理解が深まるよう、日常の授業改善に一層努める。	